

# デーヴォ ガイド



**2024.9.9-15**

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

## L T G ガイド

- ①お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。(2~3つ)
- ②1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③礼拝メッセージの分かち合いをします。  
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い(なるべく短く)
- ④預言の祈り(主の御心を宣言して祈り)をします。

## セル ガイド

- ①祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ②互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ディポジションの分かち合いをします。
- ④セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

## 家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ①この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと?
- ②この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか?(または誉めたいですか?)1つだけ。
- ③聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか?
- ④互いの必要のために祈りましょう。

## 礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは?(信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど)

②どんな思いになりましたか?(感情や願いなど)

③生き方にどう適用しますか?(あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか?)

④この世にあって何を実践しますか?

5:14 また、私がユダの地の総督として任命された日から、すなわち、アルタクセルクセス王の第二十年から第三十二年までの十二年間、私も私の親類も総督としての手当てを受けなかった。

5:15 私の前任の総督たちは民の負担を重くし、銀四十シェケルのほかにパンとぶどう酒を民から取り立てた。しかも、彼らに仕える若い者たちは民にいばりちらした。しかし、私は神を恐れて、そのようなことはしなかった。

5:16 また、私はこの城壁の工事に力を注ぎ、私たちは農地を買わなかった。私の配下の若い者たちはみな工事に集まっていた。

5:17 ユダヤ人と代表者たち百五十人、また私たちの周囲の国々から来る者が、私の食卓に着いていた。

5:18 そのため、一日に牛一頭、選り抜きの羊六頭が料理され、私のためには何羽かの鳥が料理された。それに、十日ごとに、あらゆる種類のぶどう酒がたくさん用意された。それでも私は、この民に重い負担がかかっていたので、総督としての手当を要求しなかった。

5:19 私の神よ。どうか私がこの民のためにしたすべてのことを覚えて、私をいつくしんでください。

ネヘミヤの清廉潔白な人格が明らかにされています。そのような人だからこそ、民の多くが従ったのです。

私たちの勝利は主の勝利に基づくものです。主の勝利は主の目的のために実現します。もしも自分のために勝利や成功を用いようとするなら、それは主のものではなくなくなってしまいます。主のために行いましょう。それが成功への道です。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 10日 火曜

ネヘミヤ



6:1 さて、サンバラテ、トビヤ、アラブ人ゲシュム、その他の私たちの敵に、私が城壁を築き直し、破れ口が残っていないことが伝えられたときのこと、ただし、まだ門には扉を取り付けていなかったときのことである。

6:2 サンバラテとゲシュムは私のところに使いをよこして言った。「さあ、オノの平地のケフィリムで会いしよう。」彼らは私に危害を加えようと企んでいたのである。

6:3 そこで、私は彼らのところに使者たちを遣わして言った。「私は大工事をしているから、下って行けない。私が工事をそのままにして、あなたがたのところへ下って行ったために、工事が止まるようなことがあってよいものだろうか。」

6:4 彼らは同じようなことを、四度も私のところに言ってよこした。それで私も同じことを彼らに答えた。

6:5 サンバラテは五度目にも同じようにして、若い者を私のところによこした。その手に一通の開封された手紙を持っていた。

6:6 それには次のように書いてあった。「諸国民の間で言いふらされ、また、ゲシュムも言っていることには、あなたとユダヤ人たちは反逆を企んでいて、そのために、あなたは城壁を築き直している。このうわさによれば、あなたは彼らの王になろうとしている。」

6:7 また、あなたは預言者さえ立てて、ここユダには王がいると、自分についてエルサレムで宣言させようとしている。今にこのことは王に聞こえるであろう。さあ、来なさい。一緒に相談しよう。」

6:8 そこで、私は彼のところに人を遣わして

言った。「あなたが言っているようなことは、なされていない。それはあなたが心の中で勝手に考え出したことだ」と。

6:9 これらのことはみな、「彼らの工事に対する気力が落ち、工事は中止されるだろう」と考えて、私たちを脅すためであった。ああ、今、どうか私を助けてください。

6:10 私がメヘタブエルの子デラヤの子シエマヤの家に行ったところ、彼は引きこもっていた。そしてこう言った。「神の宮、神殿の中で会い、神殿の戸を閉じておこう。彼らがあなたを殺しにやってくるから。きっと夜分に殺しにやってくる。」

6:11 そこで私は言った。「私のような者が逃げてよいものか。私のような者で、だれが神殿に入って生き続けるだろうか。私は入らない。」

6:12 私には分かった。今、彼を遣わしたのは、神ではないと。彼がこの預言を私に伝えたのは、トビヤとサンバラテが彼を買収したからだ。

6:13 私が恐れて、言われるがままにして罪を犯し、私の悪評が立って、私がそしられるようにするために、彼は買収されたのだった。

6:14 わが神よ。トビヤやサンバラテのこれらのしわざと、また、私を恐れさせようとした女預言者ノアデヤや、その他の預言者たちのしわざを覚えていてください。

今度は敵は信仰の面で混乱を与えようとしてきました。すなわちシマヤを買収して、ネヘミヤに偽りの預言を聞かせます。しかしネヘミヤは「私のような者が逃げてよいものか。私のような者で、だれが神殿に入って生き続けるだろうか。私は入

らない。」という、健全にして謙遜な信仰を貫きました。そしてそのぶれない姿勢によって、その罠をのがれました。

サタンの策略から逃れるのは、人間の少しばかりの知恵ではなく、主への忠誠による信仰の一貫した姿勢であることを知りましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 11日 水曜

ネヘミヤ

6:15 こうして、城壁は五十二日かかって、エルルの月の二十五日に完成した。

6:16 私たちの敵がみなこれを聞いたとき、周囲の国々の民はみな恐れ、大いに面目を失った。この工事が私たちの神によってなされたことを知ったからである。

6:17 またそのころ、ユダの有力者たちはトビヤのところへひんばんに手紙を送っていて、トビヤも彼らに返事をしていた。

6:18 それは、トビヤがアラフの子シェカンヤの婿であり、また、トビヤの子ヨハナンもベレクヤの子メシラムの娘を妻に迎えていたので、彼に誓いを立てていた者がユダの中に大勢いたからである。

6:19 さらに、彼らは私の前でトビヤの善行を語り、彼に私の言うことを筒抜けにしていた。トビヤは私を脅すために、たびたび手紙を送って来た。

7:1 城壁が築き直され、私が扉を取り付けたとき、門衛、歌い手、レビ人が任命された。

7:2 私は兄弟ハナニとこの城の長ハナンヤに、エルサレムを治めるように命じた。これは、ハナンヤが誠実な人であり、多くの人にまさって神を恐れていたからであった。

7:3 私は彼らに言った。「太陽が高く昇って暑くなるまでは、エルサレムの門を開けてはならない。そして彼らが警備に立っている間に、門をしっかりと閉じておきなさい。エルサレムの住民を、それぞれ物見のやぐらから自分の家の前に、見張りとして立てなさい。」

7:4 この町は広々としていて大きかったが、その中の住民は少なく、家もまだ十分に建て



られていなかった。

神様の栄光のために大いなる計画が進んでいる間も、敵と内通する者がありました。主の力を信じきれないで、主以外の人間的なものを頼みとしたのでしょうか。城壁再建が失敗したら、敵の側につくつもりだったのでしょ。クリスチャンでも神以外のものを頼りとしつつ、両者を量りにかけるような生き方が散見されます。卑怯な生き方をするクリスチャンにはなりたくないものです。

またその原因は結婚にありました。結婚は何でもめでたいと言われるようですが、主の祝福があつてこそです。神と偶像に二股かけるようなことは、クリスチャンは誰もしたくないのですが、結婚は男女が一体となることですから、神を認めない人との結婚は、信仰と不信仰に二股かけるようなライフスタイルになってしまいがちです。相当な覚悟と、また周囲の理解や助けが必要になります。

城壁が再建されたときに、歌うたいとレビ人が任命されました。これは神様の働きであり、信仰の働きであったからです。教会でもすべての働きに関して、信仰を表しましょう。みことばと祈りで始め、主に導かれ、主に栄光をお返ししましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 12日 木曜

### ネヘミヤ

7:5 私の神は私の心に示して、私に有力者たちや、代表者たちや、民衆を集めて、彼らの系図を記載させた。私は最初に乗って来た人々の系図を発見し、その中に次のように書かれているのを見つけた。

7:6 バビロンの王ネブカドネツアルが引いて行った捕囚の民で、その捕囚の身から解かれてエルサレムとユダに上り、それぞれ自分の町に帰ったこの州の人々は次のとおりである。

7:7 彼らは、ゼルバベル、ヨシュア、ネヘミヤ、アザルヤ、ラアムヤ、ナハマニ、モルデカイ、ビルヤン、ミスベレテ、ビグワイ、ネフム、バアナと一緒に帰って来た。イスラエルの民の人数は次のとおりである。

7:8 パルオシュ族、二千百七十二人。

7:9 シェファテヤ族、三百七十二人。

7:10 アラフ族、六百五十二人。

7:11 ヨシュアとヨアブの二族からなるパハ

テ・モアブ族、二千八百十八人。

7:12 エラム族、一千二百五十四人。

7:13 ザト族、八百四十五人。

7:14 ザカイ族、七百六十人。

7:15 ビヌイ族、六百四十八人。

7:16 ベバイ族、六百二十八人。

7:17 アズガデ族、二千三百二十二。

7:18 アドニカム族、六百六十七人。

7:19 ビグワイ族、二千六十七人。

7:20 アディン族、六百五十五人。

7:21 ヒゼキヤ族、すなわちアテル族、九十八

人。

7:22 ハシュム族、三百二十八人。

7:23 ベツァイ族、三百二十四人。

7:24 ハリフ族、百十二人。



7:25 ギブオン族、九十五人。

7:26 ベツレヘムとネトファの人々、百八十八人。

7:27 アナトテの人々、百二十八人。

7:28 ベテ・アズマウェテの人々、四十二人。

7:29 キルヤテ・エアリムとケフィラとベエロテの人々、七百四十三人。

7:30 ラマとゲバの人々、六百二十一人。

7:31 ミクマスの人々、百二十二人。

7:32 ベテルとアイの人々、百二十三人。

7:33 別のネボムの人々、五十二人。

7:34 別のエラム族、一千二百五十四人。

7:35 ハリム族、三百二十人。

7:36 エリコ人、三百四十五人。

7:37 ロデ人とハディデ人とオノ人、七百二十一人。

7:38 セナア人、三千九百三十人。

7:39 祭司は、ヨシュアの家系のエダヤ族、九百七十三人。

7:40 イメル族、一千五十二人。

7:41 パシュフル族、一千二百四十七人。

7:42 ハリム族、一千七十七人。

7:43 レビ人は、ホダウヤ族のヨシュアとカデミエルの二族、七十四人。

7:44 歌い手は、アサフ族、百四十八人。

7:45 門衛は、シャルム族、アテル族、タルモン族、アクブ族、ハティタ族、シヨバイ族、百三十八人。

7:46 宮のしもべは、ツイハ族、ハスファ族、タバオテ族、

7:47 ケロス族、シア族、パドン族、

7:48 レバナ族、ハガバ族、シャルマイ族、

7:49 ハナン族、ギデル族、ガハル族、

7:50 レアヤ族、レツィン族、ネコダ族、

7:51 ガザム族、ウザ族、パセアハ族、

7:52 ベサイ族、メウニム族、ネフィシエシム族、

7:53 バクブク族、ハクファ族、ハルフル族、

7:54 バツリテ族、メヒダ族、ハルシャ族、

7:55 バルコス族、シセラ族、テマフ族、

7:56 ネットリアハ族、ハティファ族。

7:57 ソロモンのしもべたちの子孫は、ソタイ族、ソフェレテ族、ペリダ族、

7:58 ヤアラ族、ダルコン族、ギデル族、

7:59 シェファテヤ族、ハティル族、ポケレテ・ハツェバイム族、アモン族。

7:60 宮のしもべたちと、ソロモンのしもべたちの子孫は、合計三百九十二人。

系図は神の民であることの証しです。新約で言えば、救われたことの証明であり、また洗礼の記録であり、教会の籍（メンバーシップ）です。救われたことと主の計画を覚えましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## ➤ 13日 金曜

### ネヘミヤ

7:61 次の人々はテル・メラフ、テル・ハルシャ、ケルブ、アドン、イメルから引き揚げて来たが、自分たちの先祖の家系と血統がイスラエル人であったかどうかを証明できなかった。

7:62 デラヤ族、トビヤ族、ネコダ族、六百四十二人。

7:63 祭司の中では、ホバヤ族、ハ・コツ族、バルジライ族。このバルジライは、ギルアデ人バルジライの娘の一人を妻にしたので、その名で呼ばれていた。

7:64 これらの人々は自分たちの系図書きを捜してみたが、見つからなかったので、彼らは祭司職を果たす資格がない者とされた。

7:65 そのため総督は彼らに、ウリムとトンミムを使う祭司が起こるまでは、最も聖なるものを食べてはならないと命じた。

7:66 全会衆の合計は四万二千三百六十人であった。

7:67 このほかに、彼らの男女の奴隷が七千三百三十七人いた。また、彼らには男女の歌い手が二百四十五人いた。

7:68 らくだは四百三十五頭。ろばは六千七百二十頭であった。

7:69 一族のかしらの何人かは、工事のためにささげ物をした。総督は資金として金一千ダリク、鉢五十、祭司の長服五百三十着を献げ、

7:70 また、一族のかしらのある者は、工事資金として金二万ダリク、銀二千二百ミナを献げた。

7:71 そのほかの民の献げたものは、金二万ダリク、銀二千ミナ、祭司の長服六十七着であった。



7:72 こうして、祭司、レビ人、門衛、歌い手、民のある者たち、宮のしもべたちが、すなわち、全イスラエルが自分たちの元の町々に住んだ。イスラエルの子らは自分たちの町々にいたが、第七の月が来たとき、

イスラエル人であることを証明できなかった者は祭司職を果たすことはできませんでした。

新約においては、救いの確かでない者と同じといえます。救いが確かでない者は、神の民ということではできません。主の奉仕をすることはできないのです。作業なら救いとは関係なく、だれでもできると思われますが、その目的や気持ちが違うでしょう。

主のためなら、誰にもほめられなくても続けられますが、教会のみなさんのため…くらいの思いではそのうち不平も出てくるものです。特に祭司職のように人と神をつなぐ働き、つまり霊的なことや伝道となると、救いがはっきりした者でなければなりません。

私たちが奉仕や、働きの動機や気持ちを見つめ直すことが、時には必要です。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 14日 土曜

### ネヘミヤ



8:1 民全体が、一斉に水の門の前の広場に集まって来た。そして彼らは、【主】がイスラエルに命じたモーセの律法の書を持って来るように、学者エズラに言った。

8:2 そこで、第七の月の一日に祭司エズラは、男、女、および、聞いて理解できる人たちすべてからなる会衆の前に律法を持って来て、

8:3 水の門の前の広場で夜明けから真昼まで、男、女、および理解できる人たちの前で、これを朗読した。民はみな律法の書に耳を傾けた。

8:4 学者エズラは、このために作られた木の壇の上に立った。彼のそばには、右手にマティテヤ、シエマ、アナヤ、ウリヤ、ヒルキヤ、マアセヤが立ち、左手にペダヤ、ミシヤエル、マルキヤ、ハシムム、ハシュバダナ、ゼカリヤ、メシラムが立った。

8:5 エズラは民全体の目の前で、その書を開いた。彼は民全体よりも高いところにいたのである。彼がそれを開くと、民はみな立ち上がった。

8:6 エズラが大いなる神、【主】をほめたたえると、民はみな両手を上げながら「アーメン、アーメン」と答え、ひざまずき、顔を地に伏せて【主】を礼拝した。

8:7 ヨシュア、パニ、シェレペヤ、ヤミン、アクブ、シャベタイ、ホディヤ、マアセヤ、ケリタ、アザルヤ、エホザバデ、ハナン、ペラヤなどレビ人たちは、民に律法を解き明かした。その間、民はその場に立っていた。

8:8 彼らが神のみおしえの書を読み、その意味を明快に示したので、民は読まれたことを理解した。

8:9 総督であるネヘミヤと、祭司であり学者であるエズラと、民に解き明かすレビ人たちは、民全体に向かって言った。「今日は、あなたがたの神、【主】にとって聖なる日である。悲しんではならない。泣いてはならない。」民が律法のことばを聞いたときに、みな泣いていたからである。

8:10 さらに、彼は彼らに言った。「行って、ごちそうを食べ、甘いぶどう酒を飲みなさい。何も用意できなかった人には食べ物を贈りなさい。今日は、私たちの主にとって聖なる日である。悲しんではならない。

【主】を喜ぶことは、あなたがたの力だからだ。」

8:11 レビ人たちも、民全体を静めながら言った。「静まりなさい。今日は聖なる日だから。悲しんではならない。」

8:12 こうして、民はみな帰って行き、食べたり飲んだり、ごちそうを贈ったりして、大いに喜んだ。教えられたことを理解したからである。

城壁や神殿などの工事は見えるもので、分り易いのですが、神様のみわざは見えるものが完成して終り…ではありません。見えない信仰の部分が大切であり、そのための工事なのです。

ですからイスラエルの民が律法の書（神の命令＝聖書）を求めて聴いたことは、ここにハイライトとして記されているのです。皆が心一つにして、「アーメン、アーメン。」と答えてひざまずき、地にひれ伏して主を礼拝した…というのは素晴らしい礼拝の姿です。そのような礼拝をささげる者の1人となりましょう。

「みな泣いていた」とありますが、これも素晴らしい姿です。彼らは自分たちの罪の大きさを、思っ泣いたのです。またそれに関わらず、神

様がこのようにエルサレムに帰還して城壁を再建するまでに憐れんでくださった愛に感じ入ったのです。

罪に対して敏感な者が主の愛に感じる事ができるのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## ➤ 15日 日曜

### ネヘミヤ



8:13 二日目に、民全体の一族のかしらたちと、祭司たち、レビ人たちは、律法のことばをよく調べるために、学者エズラのところに集まって来た。

8:14 そして彼らは、【主】がモーセを通して命じた律法に次のように書かれているのを見出した。すなわち、「イスラエルの子らは第七の月の祭りの間、仮庵の中に住まなければならない。

8:15 また、『山へ出て行き、オリーブの葉、野生のオリーブの木の葉、ミルトスの葉、なつめ椰子の葉、また茂った枝木などの枝を取って来て、書かれているとおりに仮庵を作るように』と、自分たちのすべての町とエルサレムに通達を出して、知らせなければならない』とあった。

8:16 そこで民は出て行き、枝を取って来て、それぞれ自分の家の屋根の上や庭の中、また神の宮の庭、水の門の広場、エフライムの門の広場に、自分たちのために仮庵を作った。

8:17 捕囚から帰って来た全会衆は仮庵を作り、その仮庵に住んだ。ヌンの子ヨシュアの時代から今日まで、イスラエルの子らはこのようにしていなかったもので、それは非常に大きな喜びであった。

8:18 神のみおしえの書は、最初の日から最後の日まで毎日朗読された。祭りは七日間祝われ、八日目には定めにしたがって、きよめの集会が行われた。

仮庵のまつりとは収穫を神に感謝するもので、簡単な仮の小屋を作ってそこで過ごすものです。それはまた、イスラエルの民がエジプトから逃れて荒野を旅したときのことを記念するものでもありました。

彼らは約束の地に入るまでは、仮の住まいであったのです。しかし、そこに主の守りがあり、こうして農業できるのも、主の恵であるということをお忘れないためです。

そのような大切な祭りが長い間守られていませんでしたので、イスラエルの民はそれを悔い一つも今は喜んで従ったのです。

主の命令を忘れていないでしょうか。何かの出来事が重なって、それを果たしていないということはないでしょうか。交わりや共同体によってすべきことで、忘れていたり気づいていないことはないでしょうか。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

